

B105		近現代史特講 c (世界)	
英名科目名	Special Topics in Modern World History		
大学名	京都橘大学		
連絡先	学務第1課 TEL : 075 574 4324 FAX : 075 574 4134		
担当教員	渡邊 和行 (文学部歴史学科教授)		
開講期間	2021年04月14日(水)~2021年07月28日(水) 2講時 10時55分~12時35分(毎週水曜日)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	水曜日 2講時
単位数	2	履修年次	2
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	試験 (70%)、小テスト (20%)、参加度 (10%)		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科目等履修生 : 32,000円		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【教室情報】 決定次第「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問合せください。</p> <p>【準備学習 (予習・復習)】 授業中に配布する参考文献リストに基づいて、自主的に事前学習を行う。またレジュメに基づいて復習などの事後学習を行う。</p> <p>【課題の内容】 小テストなどを行う。</p> <p>【課題に対するフィードバック】 小テストなどにコメントを付してフィードバックする。</p> <p>【履修上の注意点】 5回以上欠席した者には単位を認定しない。</p>		
パッケージ科目			
低回数受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p>【テーマ】 フランス人民戦線の誕生と崩壊</p> <p>【授業の到達目標】 フランスを中心とした20世紀前半のヨーロッパ史の基本的な知識を習得し、なぜフランスでは人民戦線運動が勝利したのかを考察することで問題史への解答を試み、歴史的な認識を深める。</p> <p>【授業の概要】 1930年代のヨーロッパ、世界恐慌後の危機に対して、ドイツ国民はヒトラー政権というナチズムを選択し、フランス国民は人民戦線政府という議会制民主主義を選択した。なぜドイツとフランスでこのような違いが生じたのか。また、人民戦線政府の遺産として今日まで残っているものは有給休暇制度 (ヴァカンス) である。ヴァカンスを政策化した政府は、どのようにして生まれたのか、そもそも人民戦線とはどのような運動であったのか、フランス人民戦線運動はどのようにして誕生し、権力を獲得し、崩壊していったのかについて検討する。</p> <p>【教育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会人として必要とされる知識や教養の獲得 ・知的関心をもって学修していく態度や心構えの養成 ・異なる考え方や異なる文化を持つ人々を理解する能力の養成 ・歴史に関する知的好奇心を高め、学問を主体的に学ぶ姿勢を身につける。 ・多彩な学問分野の成果を吸収し、歴史研究に役立てる重要性を理解する能力を修得する 		

・総合的かつ探求的な学修を通じて、人類の作り上げてきた社会・経済・政治・文化に対する深い関心と理解力を修得する

講義スケジュール	
第01回	世界恐慌下のフランス
第02回	一九三四年二月六日の騒擾事件
第03回	国民連合下の急進党
第04回	統一戦線への歩み
第05回	人民戦線への歩み
第06回	急進党パリ党大会
第07回	一九三六年六月
第08回	ブルム人民戦線政府の内政と外交
第09回	急進党ピアリッツ党大会
第10回	ブルム内閣の崩壊
第11回	人民戦線の解体
第12回	ヴァカンスの誕生
第13回	文化革命 1 スポーツ・旅行・芸術
第14回	文化革命 2 スポーツ・旅行・芸術(筆記試験)
第11回	人民戦線の解体
第12回	人民戦線の解体
第13回	文化革命 1 スポーツ・旅行・芸術
第14回	文化革命 2 スポーツ・旅行・芸術(筆記試験)
教科書	
参考書	『フランス人民戦線』渡辺和行 人文書院 2013